

【目次】
会長挨拶……………1P
総会報告……………2P
閉学式・茶話会報告…3P
次回総会のご案内…3P
お知らせ……………4P

会長挨拶

同窓会員の皆様、こんにちは。このたび平成17年度より、新しく会長を務めさせて頂くことになりました。不慣れではございますが、よろしくお願い致します。

ご承知の通り、平成16年度をもちまして、母校の短期大学部が閉学となりました。閉学自体は、寂しい限りですが社会における看護の大学教育化に伴った、やむを得ない潮流だと思えます。しかしながら母校がなくなっても、会員の心理的な繋がりは同窓会員がいる限り存続します。そうした心理的な繋がりをサポートしていくことが、同窓会のとるべき役割だと考えています。

とはいえ現在の同窓会が置かれている状況は、非常に厳しいものがあります。その最大の理由は、閉学に伴い今後新規の会員がいなくなることです。それは、同窓会の活動資金源が無くなることを意味します。現在はまだ繰越金が残っておりますが、それも数年後には使い果たしてしまうでしょう。そうした意味で、同窓会のあり方が重大な変革を余儀なくされているといわざるを得ません。

しかし、変革といってもどこから何をどのように手をつければよいのか、わかりません。あれこれと考えていても時間だけが過ぎていきますので、「できることから始めよう」と思っています。具体的には、同窓会活動を維持するための収入を何とか確保するとともに、支出を最大限に抑え、しかも従来からの活動はそのままで行うことを考えています。

収入確保の手段としては、皆様のご理解とご協力を得ながら、様々な形での寄付収入を検討したいと思います。また支出の抑制手段としては各種の郵送費が大きいため、同窓会事務局宛の電子メールやホームページによる情報発信の活用を考えています。また会員相互の情報交換を促進するためにホームページを利用した掲示板の活用をしたいと思います。いずれも同

窓会員の皆様のご理解とご協力が必要不可欠です。是非とも同窓会の存続とこれからの発展のために、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

またもうひとつの大きな課題があります。それは、短期大学部の前身である看護専門学校と同窓会や大学の同窓会との連携です。神戸市の看護教育は短期大学部設立以前の看護専門学校の時代より、閉学後の大学教育へと一貫して流れています。私たちの先輩である看護専門学校の卒業生や、次世代の神戸市の看護を担う大学卒業の後輩達と情報交換をし、お互いに学び、相談し、啓発していくことは、今後の看護の発展においては、大切ではないかと思います。それぞれの学舎は異なりますが、同じ神戸市の看護教育を受けた者として、連携していく必要があるのではないのでしょうか。こうした連携をいかに図っていくかということも今後の重要な課題として位置づけられます。それぞれの同窓会の意向も情報収集しながら、お互いにとってよりよい方向性を模索していければと考えております。

最後に、是非とも同窓会のあり方に関する皆様のご貴重なご意見、ご質問などがありましたらお聞かせください。会員のための同窓会づくりに活かしていきたいと思っております。

神戸市看護大学 短期大学部 同窓会会長
1看 6期生 江川 幸二



平成 16 年度 同窓会総会 報告

於:平成 17 年 3 月 11 日(金)11:30~13:00

場所 :神戸市看護大学短期大学部 305 号室

参加数:総会出席予定者 55 名のうち当日参加者は 37 名、委任状は 960 名、計 1015 名(委任状を含む)。

議題

1. 会長挨拶
2. 議長選出…丸山副会長
3. 平成 15・16 年度事業報告・同会計報告

承認事項

- ・母校行事の卒業式へ献花や高橋令子先生ナイチンゲール記章を祝う会のマリンバ演奏への寄付

4. 閉学に伴う今後の同窓会活動について

1)活動方法

閉学後こそ、同窓会が同窓生の拠り所となるよう活動を続けていくことが必要であると考え、閉学後は、神戸市看護大学内同窓会室を活動の拠点とし、同窓会会則に基づき、運営していくことを総会で提案し、承認を得ました。

今後も支出を最大限に抑えながら同窓会活動を続けていくためには、様々な場で活躍する同窓生に協力していただき、大学同窓会と共催で講演会等の活動を行うなど、会員の交流、資質の向上を図っていくことの同意を得ました。また、会員の皆様に多くのご意見をいただき、同窓会活動に反映させていくことが重要だという意見が多く出ました。

通信手段としましては、通信費を節約するため、ホームページやメールを使用していくこと、また、今後寄付をお願いしていくことの承認を得ました。

2)同窓会会則の改正について

改正の主な内容は、第 4 章役員 5 条の 6 の役員のクラス役員 6 条の削除、6 条役員 3 の代理役員 12 条の選出を役員会に一任するに変更、第 12 条総会成立の条件の変更です。詳細はホームページの同窓会会則をご覧ください。

3)平成 17・18 年度事業計画・同予算(案)

隔年に 1 回総会を開催すること、それに伴う通信費、「しおかぜ4号」発行費、母校行事などの承認を得ました。

予算について、今後の同窓会活動費に対する関心が高く、同窓会総会の会場費に対する質問がありました。会場に関しては、神戸市看護大学の施設を借りるなど、できるだけ費用がかからないよう運営していく計画を説明し、承認を得ました。

5. 同窓会役員改選…江川新会長を含む、8 名の役員が承認されました。下記の平成 17・18 年度の同窓会役員紹介の表をご覧ください。

6. その他

- ・ ナイチンゲール像は神戸市看護大学校舎内に移転
- ・ 歌碑が同施設中庭に設置



平成 17・18 年度 同窓会 役員	
会長	第 1 看護学科 6 期生
	江川 幸二
副会長	第 1 看護学科 10 期生
	丸山 浩枝
書記	第 1 看護学科 7 期生
	井上 由紀子
会計	第 1 看護学科 11 期生
	服部 素子
会計監査	第 1 看護学科 9 期生
	日坂 ゆかり
	第 1 看護学科 13 期生
渉外	橋内 堅司
	第 2 看護学科 4 期生
	西浦 郁絵
	第 1 看護学科 19 期生
	辻口 美香



閉学式・茶話会報告

昭和 56 年 4 月の開学以来 24 年にわたり多くの卒業生を送りだしてきた私達の母校も、神戸市における看護職養成の大学一本化に伴い閉学の運びとなり、平成 17 年 3 月に最後の卒業式後に体育館で閉学式が執り行われました。多くの同窓生の出席をいただき、懐かしい先生方の御挨拶や記念演奏に続き、最後に学歌の斉唱を行い、静かであたたかなとも心に残る式典となりました。

続いて、学生会館で同窓会主催のささやかな茶話会を開催しました。閉学式に引き続き多くの同窓生に出席していただき、懐かしい先生方を囲んでの思い出話に、あっという間に時間が過ぎていきました。最後に、開学当初から私達を支え、閉学とともに退官される中野智津子学部長と田中靖子先生に、私達の看護の出発点において大きな愛と情熱で看護教育をしていただいた感謝の気持ちを込めて、同窓会から記念品を贈呈し、和やかに茶話会を終える事ができました。出席いただいた同窓生の皆様には、時間、予算、スペースの関係で十分にくつろいでいただくことができず御迷惑をかけた部分もあると思いますが、この場を借りて感謝を申し上げます。

平成16年度 収支決算報告 H17.3.31現在

収入の部

項目	金額	備考
同窓会費	576,000円	8,000円×72名分 (平成14・16年度卒業生納入分)
雑収入	566,029円	寄付、銀行利息など
前年度繰越金	2,413,567円	
合計	3,555,596円	

支出の部

項目	金額	備考
事業費	114,935円	母校行事関係など
総会費	9,010円	
通信費	72,830円	会報郵送代など
事務費	710円	
会議費	4,460円	
予備費	0円	
合計	201,945円	

次年度繰越金 3,353,651円

平成17・18年度 収支予算(案)について

収入の部

項目	予算額	備考
同窓会費	0円	
雑収入	2,000円	銀行利息など
前年度繰越金	2,966,973円	H17.2.28現在の繰越金
合計	2,968,973円	

支出の部

項目	予算額	備考
事業費	15,000円	母校行事関係など
総会費	100,000円	会場費など
会議費	20,000円	役員会、代議員会など
通信費	600,000円	葉書代、打ち込み・印刷代など
事務費	10,000円	文具代、コピー代など
予備費	5,000円	銀行振込手数料など
合計	750,000円	

次年度繰越金 2,218,973円



同窓会総会のご案内

本学の閉学に伴い、神戸市の看護教育の歴史をとどめるため、同窓生が集うことのできる場として、メモリアルホールを建設するという計画があります。しかし、神戸市の財政上、同窓生の皆様のご協力がなければ建設は難しい現状にあります。

メモリアルホールの建設に関して、同窓会臨時総会を開催し、皆様のご意見をいただきたいと考えております。同窓会にとっては重要案件ですので、是非ともご出席いただきたいと思っております。ご出席がご無理な場合でも議決には委任状が必要となる場合がありますので、大変お手数ですが、必ず同封の返信はがきにて出欠をお知らせください。

総会を成立させるには、所在の明らかな本会員の過半数以上の参加が必要であると会則に規定されています。したがって総会に出席できない場合でも、かならず委任状を返信して下さるようご協力をお願いいたします。またホームページの総会の報告をご覧ください、同窓会への関心を高めていただけるようお願い致します。

平成 17 年度 短大同窓会臨時総会

日時:平成 18 年3月5日(日)13:00~

場所:神戸看護大学 W11

会費:500 円(お茶、資料代を含みます)

<議題>

1. 平成 17 年度活動・会計報告
2. 同窓会運営会費について
3. メモリアルホールの建設について



<講演会のお知らせ>

同窓会終了後、講演会を開催いたします。

アロマセラピーのリラックス効果は、日常のみならず臨床の場でも注目されています。

先生の講義と実際のアロマオイルを使った実技で、実践的な知識を学ぶことが出来ます。この機会にこそご参加ください。

テーマ:「心を癒すアロマセラピー(仮題)」

日時:3月5日(日) 総会終了後~17時

場所:神戸市看護大学 W12 講義室および実習室

講師:山本淑子先生(アロマスタジオ主宰)

会費:¥3,000(資料・教材費込)

定員:先着 40 名

(定員以上の場合は、お断りすることもありますので、ご了承ください)

当日、参加される方は動きやすい服装でお越し下さい。

* 講師プロフィール *

1995年、アロマセラピーの研究機関 NARD の創業者である薬学博士ドミニク・ボドゥー氏より指導者のディプロマ(免許)を取得。現在、NHKおしゃれ工房などへのテレビ出演、各地での公演、多数の執筆活動、また自身のスタジオでの各種講座の開催を通して、家庭におけるアロマセラピーの普及とともにプロフェッショナルなアロマテラピストの養成指導にも活躍中。

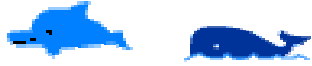
(ホームページ:<http://www.aroma-studio.com>)

同窓会総会、講演会に出席の方は、同封のハガキを **2月13日**までにご郵送ください。

アロマの講演会は実技の会場の都合上、先着 40 名様となっております。40 名を超える場合はお断りの連絡をさせて頂く事になりますが、ご了承下さい。よって、連絡先を必ずご記入下さい。連絡はメールで行いたいと考えておりますので、できるだけメールアドレスをご記入下さい。よろしくお願いいたします。

また同窓会総会に出席できない場合も、**2月13日**までに必ず「委任状」を返送ください。お願いします!

お知らせ



【中野智津子先生が名誉教授の称号を授与されました】

中野智津子先生が平成 17 年 6 月 28 日(火)に、神戸市看護大学学長室にて、神戸市看護大学短期大学部名誉教授の称号を授与されました。先生は開学当初から閉学までの 25 年間、長年にわたり短大のためにご尽力下さいました。短大が閉学した後ではありましたが、先生が名誉教授を授与されましたことは、大変に喜ばしいことです。



【訃報】

1987 年から 1992 年まで神戸市看護短期大学の学長であり、名誉教授でもある小林裕先生が平成 17 年 5 月 2 日(月)永眠されました。ご葬儀はしめやかにご家族だけで行われ、同窓会からは弔電とお香典をお贈りいたしました。先生のご冥福を心よりお祈りいたします。



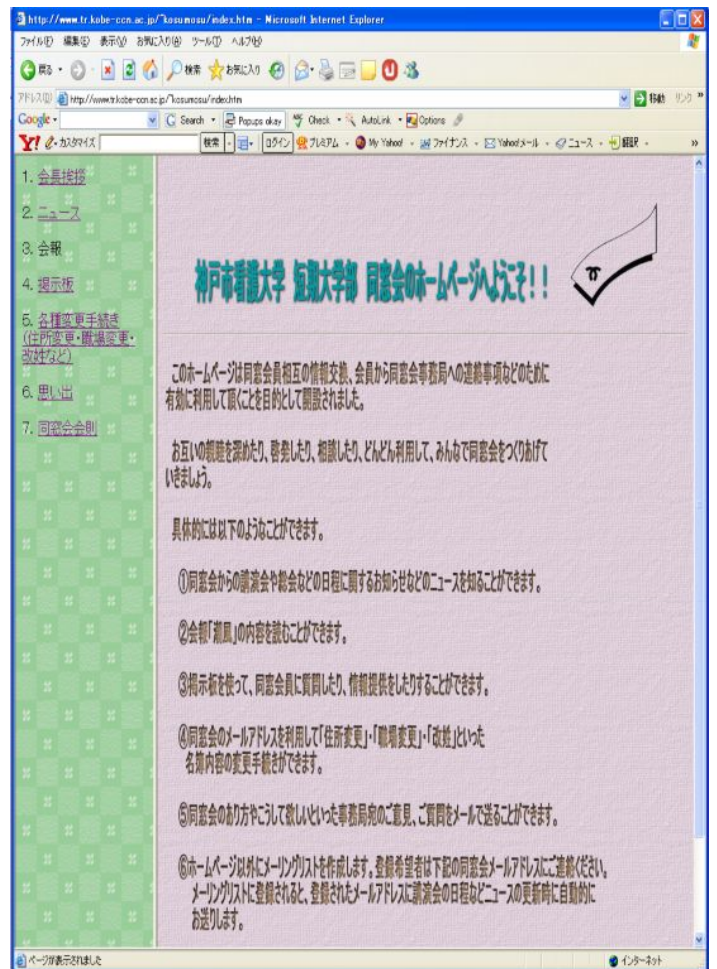
【メールアドレスおよび事務局住所の変更】

短期大学部閉学に伴い、従来の事務局の住所とメールアドレスが以下のように変更になりました。同窓会に関するご意見、ご感想などがありましたら、お気軽にご連絡ください。

連絡先は、編集後記の下記をご参照下さい。

【短期大学部同窓会ホームページの作成】

短期大学部同窓会のホームページを作成しました。講演会や総会などのお知らせといった情報発信だけでなく、懐かしい校歌を聴いたり、写真が見られるページ、会員相互の交流を図るための掲示板、など工夫を凝らしています。ホームページアドレスは <http://www.kobe-ccn.ac.jp/> で、神戸市看護大学のトップページから同窓会への入り口を作っています。今後できるだけ魅力的なホームページにしていきたいと考えていますので、是非ご覧いただき、もっとこうして欲しいなどのご意見・ご感想をお聞かせください。なお、掲示板は大学同窓会との合同となっています。懐かしい同窓生だけでなく、大学の同窓生との交流も図っていければと考えていますので、ご活用ください。



【掲示板のご利用方法】

掲示板への投稿は、ID とパスワードが必要になります。

* パスワードを忘れた場合は、神戸市看護大学短期大学部同窓会のメールアドレスに、卒業年度とお名前を明示の上、ご連絡下さい。



【メーリングリストの作成】

新たにメーリングリストを作成致します。メーリングリストは登録していただいた方に対して、同窓会から講演会の開催通知や、総会の案内と結果報告、会報といった新たな情報を自動的に送信するものです。同窓会からの新しい情報を得るのに非常に便利です。

登録ご希望の方は、上記の事務局のメールアドレス宛に、ご自分が送信してもらいたいメールアドレスと、「メーリングリスト登録希望」と書いてお送りください。



発行:

神戸市看護大学短期大学部
同窓会

〒651-2103

神戸市西区学園西町 3-4

神戸市看護大学

TEL 078-794-8080

fax :078-794-8086

e-mail:

kosumosu@tr.kobe-ccn.ac.jp



編集後記

先日、新聞で同窓会の幹事を代行する会社の記事が載っていました。集合を呼びかけたり、お金をあつめたりするのは大変。だからプロにまかせちゃおう、というわけです。便利な世の中になったものだと思いますが、金欠の我が同窓会には無縁なお話。時間のやりくりをして、役員一同、同窓会の運営に取り組んでいます。

今回の会誌も、印刷まで自分たちで行いました。一期生がやっと40歳代になったばかりでは、会員の多くは生活や仕事が充実していて、まだまだ「同窓生に会いたいな」としみじみすることはないかもしれません。でも、いつかそう思ったときに母校もない、同窓会もない、だれがどうなったのかわからない、ではちょっと寂しい。同窓会がそんな時のサポートになれるよう、役員は暗中模索しています。そんながんばりがこの会誌に出てればいいのですが。

総会で、多くの会員の皆様にお会いできることを熱望しています。